

製品名: ニューロピリン 1 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe21568**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:200-1:1000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:103kD;Observed MW:135kD

抗原情報

遺伝子名	NRP1
別名	NRP1;NRP;VEGF165R;Neuropilin-1;Vascular endothelial cell growth factor 165 receptor;CD antigen CD304
遺伝子 ID	8829.0
SwissProt ID	O14786
免疫原	ヒトニューロピリン 1 の合成ペプチド

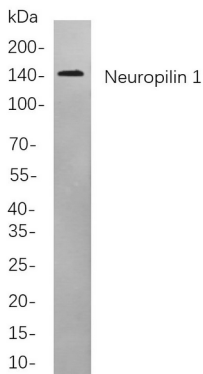
背景

細胞局在: 細胞質内、膜状。この遺伝子は、細胞遊走を制御する様々なシグナル伝達経路に関与することを可能にする特定のタンパ

ク質ドメインを含む2種類のニューロピリンのうちの1つをコードしている。ニューロピリンは、補体結合ドメイン、凝固因子V/VIIIドメイン、およびメプリンドメインからなる大きなN末端細胞外ドメインを含む。これらのタンパク質はまた、短い膜貫通ドメインと小さな細胞質ドメインも含む。ニューロピリンは多くのリガンドおよび様々な種類の共受容体に結合し、細胞の生存、遊走、および誘引に影響を与える。ニューロピリンが結合するリガンドおよび共受容体には、血管内皮増殖因子 (VEGF) やセマフォリンファミリーのメンバーなどがある。この遺伝子には、異なるタンパク質アイソフォームをコードする複数の選択的スプライシング転写バリエーションが報告されている。[RefSeq 提供、2011年10月]

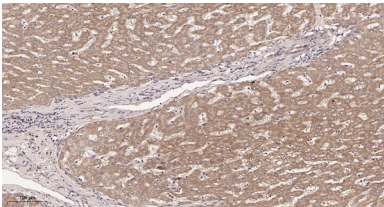
研究分野

画像データ

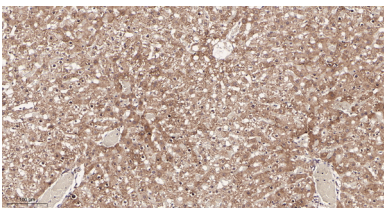


マウス肺細胞ライセートのウェスタンブロット解析

ニューロピリン1ウサギmAbを用いた。抗体の検出にはHRP標識ヤギ抗ウサギIgG抗体を用いた。



パラフィン包埋ヒト肝組織の免疫組織化学分析。1、ニューロピリン1ウサギモノクローナル抗体を1:200に希釈(4°C、一晚)。2、抗体の回復にはEDTA pH 9.0を使用(>98°C、20分)。3、二次抗体を1:200に希釈(室温、30分)。



パラフィン包埋ラット肝臓組織の免疫組織化学分析。1、ニューロピリン1ウサギモノクローナル抗体を1:200に希釈(4°C、一晚)。2、EDTA pH 9.0を使用して抗体を回復させた(>98°C、20分)。3、二次抗体を1:200に希釈(室温、30分)。